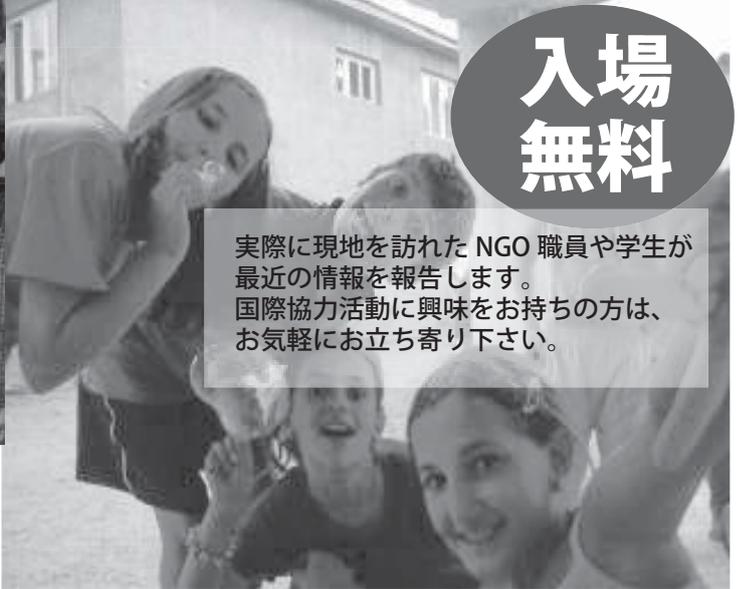


旧ユーゴスラビアの素顔

～それぞれの現場から～



**入場
無料**

実際に現地を訪れた NGO 職員や学生が最近の情報を報告します。国際協力活動に興味をお持ちの方は、お気軽にお立ち寄り下さい。

講演

ユーゴスラビアの歴史と紛争

柴宜弘 (東京大学大学院教授)

旧ユーゴにおける国連の役割と国際協力

中村恭一 (文教大学大学院教授)

旧ユーゴにおける日本の役割

長由紀枝 (ジャパン・プラットフォーム代表理事)

日常を生きるために—紛争中に生まれた命

浅川葉子 (NPO 法人 J E N 特命担当マネージャー)

旧ユーゴスラビアに暮らす7人の夢

小坂妙子 (旧ユーゴスラビア交流の輪)

パネルディスカッション

「旧ユーゴと日本・未来に向けて」

【主催】 旧ユーゴスラビア交流の輪

【協賛】 三井住友海上スマイルハートクラブ

【運営協力】 NPO 法人創造エンジン

【協力】 NPO 法人 J E N NPO 法人 ADRA Japan
文教大学国際学部ボランティアズ 国際ボランティア連絡会議
サラエヴォ・フットボール・プロジェクト

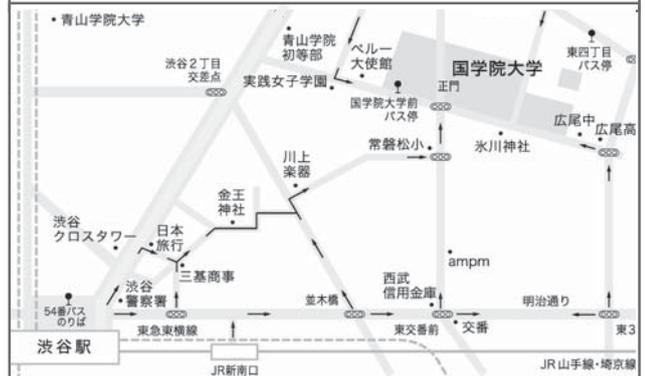
お申込み

当日参加も可能ですが、お席に限りがございますので、以下のメールアドレスまでお申し込みください。その際件名に「シンポジウム参加希望」と明記し、本文に参加者全員のお名前をお書き下さい。

link2yugoslavia@yahoo.co.jp

詳細お問い合わせ

：042-562-3115 (創造エンジン内)



2/23
18:00 ~

國學院大学 (1103 教室)

旧ユーゴスラビア交流の輪は、現地での国際ボランティア経験がある学生を中心に設立された団体です。

柴宜弘（東京大学大学院教授）

東京大学大学院総合文化研究科教授。東欧地域研究、バルカン近現代史を専攻。現在は、紛争後社会の和解の試みとして、バルカン諸国の歴史教科書比較に関心をもっている。旧ユーゴスラビアについての著書を多く出版している。

中村恭一（文教大学大学院教授）

文教大学大学院国際協力学研究科教授。元国連職員。1999年に勃発したコソボ紛争の処理にあたった国連コソボ暫定行政府の設置に伴い、2000年10月末までコソボ広報室長としてコソボ住民や世界から集まったマスコミに対してコソボ民主化の広報にあたる。

長（おさ）有紀枝（ジャパン・プラットフォーム代表理事）

東京大学大学院総合文化研究科博士課程修了（学術博士）。（特活）ジャパン・プラットフォーム代表理事。旧ユーゴ紛争中、NPO法人難民を助ける会職員として現地に駐在、セルビア、ボスニア、クロアチア、マケドニア、コソボの各地で、地雷対策、医療支援、障害者支援など様々な支援活動を実施した。博士論文はボスニア紛争末期にボスニア東部で発生したスレブレニツァ・ジェノサイドである。

浅川（ズャーリッチ）葉子（NPO法人JEN 特命担当マネージャー）

1994年よりNPO法人ジェン（JEN）勤務。クロアチア（1994～1995）と、セルビア（1996～1999）に駐在。難民・国内避難民を対象に心理社会的事業・収入向上事業などを行う。1997年に長男をベオグラードで出産。1999年3月にNATO空爆開始前日に避難して帰国。同年4月に長女を出産。同年11月より東京本部事務局に勤務し、現在は特命担当マネージャーを務める。



第2次世界大戦以降ヨーロッパで起きた最大の紛争と言われたユーゴスラビア紛争。紛争が終結して月日が経つと、日本から現地の様子を知る機会は少なくなった。しかし、当地は、復興がされていない建物、故郷に帰れない難民、異民族間の対立、コソボ独立問題、人々の心の傷など、現在なお解決されていない問題を抱えている。

旧ユーゴスラビアの現状を日本のより多くの方に理解していただき、旧ユーゴスラビアを始め世界の平和構築へと繋げていきたいという願いのもと、本シンポジウムを開催いたします。一人でも多くの方のご来場を、心よりお待ちしております。（スタッフ一同）

団体ホームページ : <http://link2yugoslavia.nomaki.jp>